

## 厚生労働省における熱中症対策

### ○健康のため水を飲もう推進委員会（健康局水道課）

・熱中症等に関する普及啓発の実施。

- ①こまめに水を飲む習慣の定着
- ②「運動中には水を飲まない」などの誤った常識をなくし、正しい健康情報を普及すること
- ③水道など身近にある水の大切さの再認識

により、子どもから高齢者までの広く国民一般の健康増進、疾病・事故予防に寄与することを目的として、平成 19 年 4 月に「健康のため水を飲もう推進委員会」（委員長：東京大学 武藤芳照教授）を組織。

平成 19～21 年度の主な取組み

- 啓発ポスター等を作成（20 年度はリーフレットも作成）。全国の水道事業者を經由して、医療機関、学校・教育機関、消防署、スポーツ団体などの協力を得て掲示。「水と健康の基本情報」とあわせて、厚生労働省ウェブページに掲載した。
- 財団法人日本高等学校野球連盟の協力を得て、全国高校野球地方大会でポスターを掲示。あわせて会場内で水分補給を呼びかけるアナウンスを実施。甲子園全国大会の試合中にバックスクリーンフリーボードでポスターを上映。
- 平成 20 年度より、財団法人日本水泳連盟の協力により、全国の水泳場にポスター等を配布。あわせて、インターハイ及び国体では、競技の行われた屋外プールにおいて、水分をこまめに摂るようアナウンスを実施。

平成 22 年度は、新たなポスターを作成したところ。本格的な夏に向けて、これまでと同様の取組を予定している。

### 平成 22 年度版ポスターデザイン



デザイン A



デザイン B



デザイン C